

令和7年度 KOEDO E-PRO認定企業

株式会社イモテック

農業機器、農業用ロボットの開発製造販売。産業用ドローン開発

認定製品・技術：

小型農業用選別機「ロボせんか」

企業情報：[詳細を見る](#)



社屋外観

収穫物を1秒で正確に計量して選別する

上部の計量皿にサトイモやニンジンなど収穫物を載せると、1個あたり1秒で計量し、重さに応じて異なる方向に皿が傾き各コンテナに仕分ける。今回KOEDO E-PRO大賞を受賞した小型ロボット「ロボせんか」は、露地野菜を育てる農家の4代目でもある塩川武彦さんが、改良を繰り返して作り上げた開発努力の賜物だ。

「ロボせんか」は、従来のコンベア式の選別機などに比べるとはるかに小型であるのが大きなメリット。縦横わずか10cm、高さはコンテナに合わせて20～60cmに調節ができ、重量も約2.2kg。持ち運びしやすく「引き出しにしまえる」ほどコンパクトだ。

計量は40～59g、60～99g、100～159g、160g以上など、選果物に合わせて4つの区分を自在に設定でき、だれでもベテラン農家の選別作業と同じ効率で作業ができる。

子どもの頃からラジコンや機械が好きだった塩川さん。模型工作が趣味だったが、好きが高じて独学でプログラミングやロボット開発の知識を習得。ある時、選果作業をしていた母親が「計量は判断の連続で神経を使うから頭が疲れる」と訴えているのを聞いたことが、自動選果作業ロボットを開発するきっかけになったという。2017年に開発を始め、1カ月後には試作機3台を作って近隣農家に貸し出し、意見を聞きながら改良を重ねた。

「一番難しかったのが計量皿の形です。選果物が置きにくい、反対に落ちやすい、皿のなかに泥が溜まる……など、周囲の感想や意見を聞き、自分も使いながら皿の形を変えたり、縁を曲げる角度を変えたり、内側を階段状にしたり。選果物を確実に落下させると同時に次の選別が迅速スムーズに行えるよう、プログラムを修正してはテストする、の繰り返しでした。2024年にこの形状に落ち着くまでに50個くらいの試作品を作ったと思いますね」と塩川さんは振り返る。評判が評判を呼び、周囲に背中を押されて商業ベースで取り扱う会社を設立。全国展開している。



小型農業用選別機「ロボせんか」RBS-01

独自技術・強み

「ロボせんか」は特許取得済み。計量皿と設定を変えれば、農産物だけでなく、鮮魚や牡蠣・ナマコなど水産物にも対応できる。「揺れ動く船上で使いたい」など、使う人の要望をすぐにプログラミングに落とし込んだり、図面を引いたりする柔軟な対応力とフットワークの軽さが同社の強みになっている。

展望、事業連携

現在は国内だけでなく、台湾など海外でも注文を受けるようになり、販路が拡大している。「ロボせんか」は改良を重ねた完成品だが、「まだ完璧ではない」と塩川さん。品目に合わせて自由に角度設定できるようにするとか、液晶パネルで重さや設定の表示ができるようにする、リモコンで手元操作ができるようにするなど、さらに使いやすさを追求して開発していきたいと語る。

インタビュー 代表取締役 塩川武彦さん

最近は東南アジア諸国で「ロボせんかを作りたい」という問い合わせが来ていて、ますます販路が広がっています。もともと自分たちの農作業の現場で使うために作った「ロボせんか」が、国内だけでなく海外でも評価されていることがうれしいですね。農家の人手不足や高齢化といった問題の解消に役立てばと思っています。「自分が買ってでも使い続けたい」と思える商品作りを原点に、これからも開発に注力していきます。



代表取締役 塩川武彦さん

企業情報

社名	株式会社イモテック
社名（フリガナ）	イモテック
設立年	2024年 7 月
資本金	100万円
代表者氏名	塩川武彦 （代表取締役）
所在地	埼玉県川越市中福153-2
支店・営業所等	埼玉県川越市中福627
業種	業務用機械器具製造業
正社員数	1名
主な事業内容	農業機器、農業用ロボットの開発製造販売。産業用ドローン開発。
電話	050-3696-6930

mail

info☆imotec.co.jp

(※上記の「☆」記号を半角「@」記号に置き換えてご利用ください)

企業サイトURL

<https://imotec.co.jp/>

※本データは公開時点のものです